

保団連 第51回定期大会 参加報告

18年ぶりに会長交代 保険証の存続・医療の充実など幅広く議論

1月27日(土)・28日(日)、東京都市センターホテルにおいて第51回定期大会がWEBを併用して開催されました。当会からは藤戸好典会長・新井良一副会長(保団連理事)として参加。千葉研常任理事が参加しました。以下、参加者からの報告です。

会長 藤戸 好典

住江憲勇保団連会長のあいさつに続き竹田智雄保団連副会長による2024〜2025年度活動方針案の提案がありました。そのポイントだけを紹介させていただきます。

1. 令和6年度半島地震…一刻も早く、診療と生活の再建を
2. 政治不信、支持率低下の現政権。今こそ政治転換を
3. 「医療費抑制」「診療所狙い撃ち」で医療報酬の経営基盤崩す診療報酬改定
4. 広がる「保険証廃止勝手に



「10の重点分野」が掲げられ、今期の保団連はその推進に当たることが力強く示されました。「10の重点分野」

1. 「保険証残せ!」オンライン資格確認義務化撤回
2. 「10の重点分野」が掲げられ、今期の保団連はその推進に当たることが力強く示されました。
3. 「10の重点分野」が掲げられ、今期の保団連はその推進に当たることが力強く示されました。
4. 「10の重点分野」が掲げられ、今期の保団連はその推進に当たることが力強く示されました。
5. 「10の重点分野」が掲げられ、今期の保団連はその推進に当たることが力強く示されました。
6. 「10の重点分野」が掲げられ、今期の保団連はその推進に当たることが力強く示されました。
7. 「10の重点分野」が掲げられ、今期の保団連はその推進に当たることが力強く示されました。



今回の定期大会で18年ぶりに会長が交代となり、住江憲勇前会長(名誉会長に就任)は、常駐20年、会長職18年を無事務められたことに感謝を述べられました。

竹田智雄新会長はあいさつで、「平和なくして社会保障の充実はありません。揺るぎない心で絶えず平和を求めたい」と述べ、活動の旨を述べられました。

73演題に対しても的確な答弁が行われました。今回最も特記すべき事項は18年間会長職を担っていた住江会長が退任され、また副会長3名、理事8名が退任され、竹田新会長のもと、新執行部が誕生したことです。

今後の研究会などのスケジュール

詳細や申込方法は案内チラシまたはホームページにてご確認ください。

2024年 新点数第2次説明会
(会員参加費無料)

医科説明会 (オンライン併用)
日時: 5月17日(金)
入院点数 18:50~19:20
外来点数 19:30~21:00
会場: アバンセホール・オンライン (Zoom) 配信

歯科説明会 (オンライン併用)
日時: 5月23日(木) 19:30~
会場: アバンセ第3研修室・オンライン (Zoom) 配信

各地の保険医協会の学習会は、保団連の「研究会交流サイト」で詳しく案内しています。
<https://hodanren.doc-net.or.jp/kenkyu/index.html>

※事前にお申し込みの上、ご参加ください。
※スケジュールはホームページでもご確認ください。

第13回 MMTってなに?

診察室だより

MMTってなに? という「馬鹿にするな、徒手筋力テストぐらい知ってるよ」といわれる先生方が大半だと思います。しかしその使い方についてはどうでしょうか? 緊急性のある片麻痺・ギランバレー、頻度の高い頸椎症などの圧迫性ニューロパチー、機能的神経障害や見逃したくないALSを区別できるでしょうか?

例えば下垂手の患者さんを診る場合橈骨神経の場合は長・短橈腕手根伸筋、指伸筋、尺側手根伸筋でC5-Th1の神経支配領域となります。尺骨神経の場合は尺側手根屈筋、深指屈筋、小指外転筋、背側骨間筋でC7-Th1の神経支配となります。指を伸ばせなければ橈骨神経、曲げられなければ尺骨神経というのが分かってきましたね。では手首をだらんとした状態で指を曲げたり伸ばしたりさせて意味があるでしょうか。答えはノーです。すべての筋肉にはもともとその筋肉に力が入りやすい肢位というのがあります。それを知っていることがMMTを診る時の基本となります。

というわけでこの場合は手首を伸ばし手指のMP関節を強く伸展位に維持して屈筋が弱いのか伸筋が弱いのか、小指を外転する力はどうかを見ることで、どの神経の障害で下垂手が起こっているかを知ることができるのです。確定診断は筋電図になります。問診上重急性に起こっているならば末梢神経の圧迫、慢性的経過でしたのであれば頸椎を疑うこととなります。急性の場合は脳梗塞の可能性も否定できません。またMMT1-5の分類にはバイアスがかなりやすいといわれているので、正確に0-5を分けるよりは0かそれ以外かが分かればよいという考え方もありかもしれません。各筋肉と神経支配をまとめた表がMMT・針筋電図ガイドブックに載っており重宝すると思います。

本文は紹介の本文の内容とは関係ありませんのでご注意ください。以上参考になれば幸いです。

(ペンネーム 正篤)